

建築改修工事仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																								
I 工事概要 1 工事場所 2 地域地区 () 3 敷地面積 m ² 4 建物用途 5 棟別概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>建物名称</th> <th>建築種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>消防法の区分</th> <th>建築面積 (m²)</th> <th>延面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6">合 計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	1								2								3								4								5								6								7								合 計								3 環境への配慮 4 特別な材料の工法及び製品 5 電気保安技術者 (1. 3. 3) 6 施工条件 (1. 3. 5) 7 発生材の処理等 (1. 3. 12)	11 技能士の適用 (1. 6. 2) 12 化学物質の濃度測定 (1. 6. 9) 13 工事写真 14 完成図 15 保全に関する資料 (1. 8. 3) 16 関連他工事 17 特定元方事業者の指名	18 施工図及び施工計画書 (1. 2. 2、3) 19 事前調査等 20 撤去部分 21 耐荷重及び耐外力 2 仮設工事 1 騒音・粉じん等の対策 (2. 1. 3) 2 足場等 (2. 2. 1) 3 既存部分の養生 (2. 3. 1)	提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における 使用権は発注者に委譲するものとする。 大気汚染防止法第18条の17の規定等に基づき、受注者は事前調査を 行うこと実施し、発注者へ書面による説明及び調査結果の揭示を行うこと ・ 図示による 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V0 (m/s) ・ 30 ・ 32 (旧益田市、旧匹見町、旧日原町、隠岐郡) ・ 34 (旧津和野町、旧柿木村、旧六日市町) 地表面粗土区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 積雪荷重 告示第1455号、鳥根県建築基準法施行細則による 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 * 工事に必要な範囲 「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年 4月策定)」による。 外部足場 ・ 範囲 () ・ 図示による ・ 設置しない 外部足場の種類 (・ 図示による) 防護シート ・ 範囲 () ・ 図示による ・ 設置しない 内部足場 ・ 範囲 () ・ 図示による ・ 設置しない 内部足場の種類 (・ 脚立、足場板等 ・ 枠組足場 ・ 移動式足場 ・ 図示による) 材料、撤去材等の運搬方法 (表2. 2. 1) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 既存部分の養生方法 ・ ビニルシート ・ 合板 ・ 図示による 既存家具等の養生方法 ・ ビニルシート等による ・ 図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ・ 取り外し ・ 図示による 保管場所 備品等の移動 ・ 図示による																		
No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)																																																																																								
1																																																																																															
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
5																																																																																															
6																																																																																															
7																																																																																															
合 計																																																																																															
II 工事仕様 1 共通事項 (1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修「建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版 [平成31年4月改定] 」 (以下「標準仕様書」という) による。ただし、改修標準仕様書に規定されている 項目項目以外は、「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版 [平成31 年4月改定]」 (以下「標準仕様書」という) による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事 はそれぞれの工事仕様書を適用する。 2 特記事項 (1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は ⊙ 印を適用する。 ⊙ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。 ⊙ 印と ⊕ 印のある場合はともに適用する。 (3) 特記事項に記載の () 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。 特記事項に記載の ≪ ≫ 内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。		8 交通安全管理 (1. 3. 9) 9 施工数量調査 (1. 5. 2) 10 調査のための破壊部分の補修方法 (1. 5. 3)	産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品目</th> <th>搬出場所</th> <th>距離 (Km)</th> <th>D1D 区分 (有・無)</th> <th>処分費 (有・無)</th> <th>備考 (再資源化 の有無等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定建設 資材</td> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特別管 理産業 廃棄物</td> <td>・ コンクリート 及び鉄から 成る建設資材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・ 木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>・ 石膏含有吹付け材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石膏含有保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石膏含有成形板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ PCB含有建材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>人・日数</th> <th>交通安全管理の必要な作業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通誘導員A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通整理員</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、 交通整理員については資格を問わない。 取り扱いは平成19年4月26日付技第26号による	項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	D1D 区分 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化 の有無等)	特定建設 資材	・ コンクリート塊					有	・ アスファルト塊					有	特別管 理産業 廃棄物	・ コンクリート 及び鉄から 成る建設資材					有	・ 木材					有	その他	・ 石膏含有吹付け材						・ 石膏含有保温材						・ 石膏含有成形板							・ PCB含有建材						名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員			下記のものを、竣工後15日以内に提出する。 仕様は、鳥根県建築工事完成図取扱要領による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名 ・ 仕 様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複写 図 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等) 1部</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table> 製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、 <u>鳥根県</u> にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は 完成図の作成のため以外に使用してはならない。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>書 類 名</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)</td> <td>* 1部</td> </tr> <tr> <td>機器取扱い説明書</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>機器性能試験成績書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>官公署等届出書類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他監督職員が指示するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)</td> <td>* 1部</td> </tr> </tbody> </table> (注) 保全に関する資料は1部を施設管理者に引き渡す	品 名 ・ 仕 様	提出部数	複写 図 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))	部	* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等) 1部	1部	書 類 名	提出部数	建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部	機器取扱い説明書	部	機器性能試験成績書		官公署等届出書類		その他監督職員が指示するもの		建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1部
項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	D1D 区分 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化 の有無等)																																																																																									
特定建設 資材	・ コンクリート塊					有																																																																																									
	・ アスファルト塊					有																																																																																									
特別管 理産業 廃棄物	・ コンクリート 及び鉄から 成る建設資材					有																																																																																									
	・ 木材					有																																																																																									
その他	・ 石膏含有吹付け材																																																																																														
	・ 石膏含有保温材																																																																																														
	・ 石膏含有成形板																																																																																														
	・ PCB含有建材																																																																																														
名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																																													
交通誘導員A																																																																																															
交通誘導員B																																																																																															
交通整理員																																																																																															
品 名 ・ 仕 様	提出部数																																																																																														
複写 図 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))	部																																																																																														
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等) 1部	1部																																																																																														
書 類 名	提出部数																																																																																														
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部																																																																																														
機器取扱い説明書	部																																																																																														
機器性能試験成績書																																																																																															
官公署等届出書類																																																																																															
その他監督職員が指示するもの																																																																																															
建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1部																																																																																														
図面番号	工 事 名	図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者	設 計 者																																																																																									
()		仕様書1																																																																																													

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																		
4	4 仮設間仕切り (2.3.2)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表2.3.1) A種、B種の表面板 ・ 石膏ボード (t=9.5mm) ・ 合板 (t=9mm) A種、B種の片面塗装等 ・ 行う (仕様) ・ 行わない 仮設扉の種別 ・ 木製 (合板張り程度)	4	4 アスファルト防水 (3.3.2)	(表3.3.3~10) 適用箇所 工法種別 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ BI-1 ・ BI-2 ・ BI-3 ・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ DI-1 ・ DI-2 ・ E-1 ・ E-2 断熱材の種類及び厚さ ・ 表3.3.3~10による 脱気装置 * 製造所の仕様による	7 塗膜防水 (3.6.3)	(表3.6.1, 2) 適用箇所 種別 仕上塗材 種類 使用量 (kg/m ²) ・ X-1 * 製造所の仕様による ・ X-2 * 製造所の仕様による * 屋内防水 ・ Y-2	4-1 1 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ)	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(1)(ア)) (4.3.4~6)	・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ・ A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 200~ 300 0.3以上 0.5未満 0.5以上 1.0未満 ・ B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 50~ 100 0.3以上 0.5未満 100~ 200 ・ C 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上 0.5未満 200 ・ D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上 1.0未満 150~ 250 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜きによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き回数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない 抜き部補修方法 ・ Uカットシーリング材充填工法 (充填材) ・ シーリング材 * PU-1又はPU-2 ポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂																																			
	5 監督員事務所 (2.4.1)	設置する 面積: m ² 程度 仕上げ: 備品: 設備:		5 改質アスファルトシート防水 (3.4.2~3)	(表3.4.1~3) 適用箇所 工法種別 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J2 ・ ASI-T1 ・ ASI-J1 断熱材の種類及び厚さ ・ 表3.4.1~3による 脱気装置 * 製造所の仕様による 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層 * 製造所の仕様による		8 シーリング (3.7.2~3, 8)				シーリング材の種類及び適用箇所 図示以外は表3.7.1による 接着性試験 ・ 行う (簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験) ・ 行わない	9 と い (3.8.2~3)	2 欠損部改修工法 (4.1.4(1)(イ)) (4.3.7)	2 欠損部改修工法 (4.1.4(1)(イ)) (4.3.7)	・ 充填工法 (充填材) ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル																														
	6 現場事務所	設置できる (敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所:))		6 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2~3)	(表3.5.1) 適用箇所 種別 仕上塗料 種類 使用量 (kg/m ²) ・ S-F1 * 製造所の仕様による ・ S-F2 ・ S-M1 * 製造所の仕様による ・ S-M2 ・ S-M3		10 アルミニウム製笠木 (3.9.2)				部位 材種 仕上げ とい受金物 軒とい ・ ・ ・ ・ ・ 市販品 ・ 図示による 縦とい ・ ・ ・ ・ ・ 市販品 ・ 図示による					10 アルミニウム製笠木 (3.9.2)	1 1 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ)	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(2)(ア)) (4.4.2)	・ モルタルを撤去する場合の改修工法 ・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ・ A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 200~ 300 0.3以上 0.5未満 0.5以上 1.0未満 ・ B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 50~ 100 0.3以上 0.5未満 100~ 200 ・ C 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上 0.5未満 200 ・ D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上 1.0未満 150~ 250 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜きによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き回数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない 抜き部補修方法																										
	7 工事用電力、水、その他	構内既存の施設 工事用水 ・ 利用できる (有償) ・ 利用できない 工事用電力 ・ 利用できる (有償) ・ 利用できない		(表3.5.2) 適用箇所 種別 仕上塗料 種類 使用量 (kg/m ²) ・ SI-F1 * 製造所の仕様による ・ SI-F2 ・ SI-M1 * 製造所の仕様による ・ SI-M2	11 施工保証書 下記防水工事施工部分について、10年間の施工保証書を提出し、期間内に請負者の責任により漏水したときには、請負者の負担により直ちに補修することを確約する。 ・ アスファルト防水 ・ 改質アスファルトシート防水 ・ 合成高分子系ルーフィングシート防水 ・ 塗膜防水 ・ ケイ酸系塗布防水						11 施工保証書									とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 材種 ・ 表3.8.2 (溶融亜鉛めっきを行ったもの) ・ ステンレス (アンカー含む) アンカー取付工法: 形状 ・ 製造所の仕様による 取付間隔 たてどい (m) 横走り管 (m) 軒樋 (m) 鋼管製等といの防露巻き ・ 適用する * 表3.8.4による ・ 適用しない	10 アルミニウム製笠木 (3.9.2)	1 1 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ)	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(2)(ア)) (4.4.2)	・ モルタルを撤去する場合の改修工法 ・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ・ A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 200~ 300 0.3以上 0.5未満 0.5以上 1.0未満 ・ B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 50~ 100 0.3以上 0.5未満 100~ 200 ・ C 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上 0.5未満 200 ・ D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上 1.0未満 150~ 250 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜きによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き回数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない 抜き部補修方法																					
	8 仮囲い及び出入口	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。		(表3.5.3) 適用箇所 種別 モルタル塗り厚さ (mm) ・ S-C1																					3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 (3.1.3)	・ 3.1.3 (ア) 及び (イ) による	10 アルミニウム製笠木 (3.9.2)	1 1 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ)	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(2)(ア)) (4.4.2)	・ モルタルを撤去する場合の改修工法 ・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ・ A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 200~ 300 0.3以上 0.5未満 0.5以上 1.0未満 ・ B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 50~ 100 0.3以上 0.5未満 100~ 200 ・ C 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上 0.5未満 200 ・ D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上 1.0未満 150~ 250 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜きによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き回数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない 抜き部補修方法														
	9 養生シート	設置範囲 ・ 図示の位置 ・ 外部足場全面 養生シートの種別 ・ 養生シート ・ 防災I類 ・ 防災II類 ・ ネット状養生シート ・ 防災I類 ・ 防災II類		機械的固定工法に用いる断熱材 材質 * 図示による 接着工法に用いる断熱材 材質 * 図示による																												3 防水改修工事	2 ルーフドレン回りの処理 (3.2.5)	改修用ドレン 設ける 設けない 材質 ()	10 アルミニウム製笠木 (3.9.2)	1 1 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ)	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(2)(ア)) (4.4.2)	・ モルタルを撤去する場合の改修工法 ・ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ・ A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 200~ 300 0.3以上 0.5未満 0.5以上 1.0未満 ・ B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上 0.3未満 50~ 100 0.3以上 0.5未満 100~ 200 ・ C 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上 0.5未満 200 ・ D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上 1.0未満 150~ 250 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜きによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き回数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない 抜き部補修方法							
	10 洗車場	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。		3 防水改修工事																																			3 既存下地の処置 (3.2.6)	補修箇所の形状、長さ、数量 ・ 図示による 既存防水層表面仕上げ塗装の除去 アスファルト露出防水 ・ 行う ・ 行わない 塗膜防水 ・ 行う ・ 行わない POS工法及びPOSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ・ 3.2.6 (4) (ウ) (g) ①~③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 図示による					
	11 木製安全施設製品 (県産木材製品)	* 工事用看板 (表示板1, 400mm×500mm用) 2台 * 工事用バリアード 5台 * 工事用標示板 (表示板1, 400mm×1,100mm用) 台 (注) 取り扱いは平成25年3月8日付第945号による																																											
	3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法 (3.1.3)																																							2 ルーフドレン回りの処理 (3.2.5)	3 既存下地の処置 (3.2.6)			
	図面番号	工事名																																							図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
	()																																								仕様書2				

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																						
4	<p>・ Uカットシール材充填工法 (充填材)</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング材 <ul style="list-style-type: none"> PU-1又はPU-2 ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 <p>シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>モルタル撤去部分の補修工法 ・ 充填工法 (充填材) <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル </p> <p>・ モルタル塗替え工法 材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>・ モルタルを撤去しない場合の改修工法</p> <p>・ 樹脂注入工法</p> <table border="1" data-bbox="320 661 795 955"> <thead> <tr> <th colspan="2">工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td rowspan="3">自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td rowspan="3">200~ 300</td> <td rowspan="3">.</td> </tr> <tr> <td>0.3以上 0.5未満</td> </tr> <tr> <td>0.5以上 1.0未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td>50~ 100</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上 0.5未満</td> <td>100~ 200</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上 1.0未満</td> <td>150~ 250</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形</p> <p>コア抜き取りによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き取り個数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない</p> <p>抜き取り部補修方法 ・</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 (充填材)</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング材 <ul style="list-style-type: none"> PU-1又はPU-2 ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 <p>シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.	0.3以上 0.5未満	0.5以上 1.0未満	B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.	C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.	D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.	<p>3 浮き部改修工法 (4.1.4(2)(ウ)) (4.4.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> モルタルを撤去しない場合の改修工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付きアンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付きアンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付きアンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 モルタルを撤去する場合のモルタル撤去部の補修 (充填材) <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 <p>4 1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4(3)(ア)) (4.5.2,7~8)</p> <ul style="list-style-type: none"> タイル張りを撤去する場合の改修工法 樹脂注入工法 <table border="1" data-bbox="1018 730 1478 1024"> <thead> <tr> <th colspan="2">工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td rowspan="3">自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td rowspan="3">200~ 300</td> <td rowspan="3">.</td> </tr> <tr> <td>0.3以上 0.5未満</td> </tr> <tr> <td>0.5以上 1.0未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td>50~ 100</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上 0.5未満</td> <td>100~ 200</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上 1.0未満</td> <td>150~ 250</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形</p> <p>コア抜き取りによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き取り個数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない</p> <p>抜き取り部補修方法 ・</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 (充填材)</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング材 <ul style="list-style-type: none"> PU-1又はPU-2 ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 <p>タイル張り撤去部の補修工法 ・ タイル部分張替え工法 (充填材) <ul style="list-style-type: none"> ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ポリウレタン樹脂 </p> <p>・ タイル張替え工法</p>	工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.	0.3以上 0.5未満	0.5以上 1.0未満	B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.	C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.	D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.	<p>2 欠損部改修工法 (4.1.4(3)(イ)) (4.5.3)</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4(3)(ウ)) (4.5.4)</p> <p>3 タイル (1.1.2.2) (1.1.3.2) (1.1.4.2)</p> <p>5 目地改修工法 (4.1.4(3)(エ)) (4.5.16)</p>	<p>・ タイル張りを撤去しない場合の改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 <table border="1" data-bbox="1715 210 2175 493"> <thead> <tr> <th colspan="2">工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td rowspan="3">自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td rowspan="3">200~ 300</td> <td rowspan="3">.</td> </tr> <tr> <td>0.3以上 0.5未満</td> </tr> <tr> <td>0.5以上 1.0未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上 0.3未満</td> <td>50~ 100</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上 0.5未満</td> <td>100~ 200</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上 1.0未満</td> <td>150~ 250</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形</p> <p>コア抜き取りによる注入状況検査 ・ 行う コア抜き取り個数 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 行わない</p> <p>抜き取り部補修方法 ・</p> <p>・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル使用 ・ エポキシ樹脂使用</p> <p>・ タイル張替え工法 貼付けモルタルの材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>・ タイル張りを撤去しない場合の改修工法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付きアンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付きアンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付きアンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付きアンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法</p> <p>・ タイル張りを撤去する場合の改修工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル使用 ・ エポキシ樹脂使用</p> <p>・ タイル張替え工法 貼付けモルタルの材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1" data-bbox="1715 1407 2175 1470"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>備考 (参考品番等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイルの色は特記無き限りメーカー標準色とする。</p> <p>役物使用箇所 (形状は図示による) 内装 ・ 出隅 ・ 天端 ・ 外装 ・ 出隅 ・ 窓台 ・ マグサ ・ (標準一体成型品以外は接着成型品とする)</p> <p>タイルの試験張り ・ 行わない ・ 行う () タイルの見本焼き ・ 行わない ・ 行う ()</p> <p>・ 目地ひび割れ改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 伸縮目地の位置及び寸法 ・ 図示による</p>	工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.	0.3以上 0.5未満	0.5以上 1.0未満	B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.	C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.	D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.	適用箇所	形状寸法 (mm)	備考 (参考品番等)				<p>4 1 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3)</p> <p>2 仕上塗材仕上げ (4.2.2(10)) (4.6.5)</p> <p>3 マスチック塗材塗り (4.7.2)</p> <p>4 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.2.2(10)(イ)) (4.8.2)</p>	<table border="1" data-bbox="2392 147 2870 357"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処 理 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>・ 既存仕上全体</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>・ 既存仕上全体</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>・ 既存仕上全体</td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>・ 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上全体</td> </tr> </tbody> </table> <p>下地調整 * 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル</p> <table border="1" data-bbox="2392 357 2870 672"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装薄塗材 S</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 外装薄塗材 E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 着色骨材砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可とう形外装薄塗材 E</td> <td rowspan="3">・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防水形外装薄塗材 E</td> <td rowspan="2">・ 凹凸状</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装薄塗材 S</td> <td rowspan="2">・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="3">・ 外装厚塗材 C</td> <td>・ 吹放し</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>・ こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>・ ひき起こし</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">複層仕上塗材</td> <td rowspan="5">・ 複層塗材 C E</td> <td rowspan="5">・ ゆず肌状</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="5">耐候形 (種) 樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸模様</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ 複層塗材 S i</td> <td rowspan="5">・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="5">耐候形 (種) 樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ 複層塗材 R E</td> <td rowspan="5">・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="5">耐候形 (種) 樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軽量骨材仕上塗材</td> <td rowspan="3">・ 吹付用軽量塗材</td> <td>・ 砂壁状</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可とう形改修用仕上塗材</td> <td rowspan="3">・ 可とう形改修塗材 E</td> <td>・ 吹付け</td> <td rowspan="3">耐候形 (種) 樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="2392 1449 2870 1533"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種 別</th> <th>凸 面 処 理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上材 ・ アクリル樹脂エナメル ・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント</p> <p>仕上げの形状 工法 (4.1.5) 外壁用仕上塗材の耐候性 (4.2.2(10)(イ)) * JIS A 6909の耐候形1種の品質基準に適合するもの</p> <p>下地拳動緩衝材 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>模様材の種類 (所要量 * 表4.2.6による) ・ kg/m²</p> <p>外壁用仕上塗料の種類 (所要量 * 表4.2.6による) ・ kg/m²</p>	工 法	処 理 範 囲	・ サンダー工法	・ 既存仕上全体	・ 高圧水洗工法	・ 既存仕上全体	・ 塗膜はく離剤工法	・ 既存仕上全体	・ 水洗い工法	・ 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上全体	種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ ゆず肌状	・ ローラー塗り	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 着色骨材砂壁状		可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ ゆず肌状	・ ローラー塗り	・ さざ波状		防水形外装薄塗材 E	・ 凹凸状	・ 吹付け		・ ゆず肌状	・ ローラー塗り	外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ 凹凸状	・ 吹付け	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し		・ 凸部処理	・ こて塗り	・ 凸部処理	・ ひき起こし	複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・ ゆず肌状	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂	・ 吹付け	・ ローラー塗り	・ 凹凸模様	・ 凹凸模様	・ 複層塗材 S i	・ 凸部処理	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂	・ 吹付け	・ ローラー塗り	・ 吹付け	・ 吹付け	・ 複層塗材 R E	・ 凸部処理	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂	・ 吹付け	・ ローラー塗り	・ 吹付け	・ 吹付け	軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状		・ 吹付け	・ 吹付け	可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂	・ 吹付け	・ 吹付け	適用箇所	種 別	凸 面 処 理		・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない		・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない		・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない	<table border="1"> <tr> <td>図 面 番 号</td> <td>工 事 名</td> <td>図 面 種 別</td> <td>縮 尺</td> <td>設 計 ・ 年 月</td> <td></td> <td>担 当 者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td>仕様書3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>設 計 者</td> <td></td> </tr> </table>	図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 ・ 年 月		担 当 者		()		仕様書3												設 計 者	
工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																										
A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.																																																																																																																																																																																																																										
		0.3以上 0.5未満																																																																																																																																																																																																																												
		0.5以上 1.0未満																																																																																																																																																																																																																												
B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.																																																																																																																																																																																																																										
C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.																																																																																																																																																																																																																										
D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.																																																																																																																																																																																																																										
工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																										
A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.																																																																																																																																																																																																																										
		0.3以上 0.5未満																																																																																																																																																																																																																												
		0.5以上 1.0未満																																																																																																																																																																																																																												
B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.																																																																																																																																																																																																																										
C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.																																																																																																																																																																																																																										
D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.																																																																																																																																																																																																																										
工法の種類		ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																										
A	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	200~ 300	.																																																																																																																																																																																																																										
		0.3以上 0.5未満																																																																																																																																																																																																																												
		0.5以上 1.0未満																																																																																																																																																																																																																												
B	手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 0.3未満	50~ 100	.																																																																																																																																																																																																																										
C	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 0.5未満	100~ 200	.																																																																																																																																																																																																																										
D	機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 1.0未満	150~ 250	.																																																																																																																																																																																																																										
適用箇所	形状寸法 (mm)	備考 (参考品番等)																																																																																																																																																																																																																												
工 法	処 理 範 囲																																																																																																																																																																																																																													
・ サンダー工法	・ 既存仕上全体																																																																																																																																																																																																																													
・ 高圧水洗工法	・ 既存仕上全体																																																																																																																																																																																																																													
・ 塗膜はく離剤工法	・ 既存仕上全体																																																																																																																																																																																																																													
・ 水洗い工法	・ 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上全体																																																																																																																																																																																																																													
種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																										
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
		・ ゆず肌状	・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																											
	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
		・ 着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																																												
可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ ゆず肌状		・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																										
		・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																												
防水形外装薄塗材 E	・ 凹凸状	・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ ゆず肌状		・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																										
外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ 凹凸状		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																										
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し																																																																																																																																																																																																																												
		・ 凸部処理		・ こて塗り																																																																																																																																																																																																																										
		・ 凸部処理		・ ひき起こし																																																																																																																																																																																																																										
複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・ ゆず肌状	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂																																																																																																																																																																																																																										
			・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
			・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																											
			・ 凹凸模様																																																																																																																																																																																																																											
			・ 凹凸模様																																																																																																																																																																																																																											
	・ 複層塗材 S i	・ 凸部処理	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂																																																																																																																																																																																																																										
			・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
			・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																											
			・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
			・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																											
・ 複層塗材 R E	・ 凸部処理	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂																																																																																																																																																																																																																											
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																												
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状																																																																																																																																																																																																																												
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E	・ 吹付け	耐候形 (種) 樹脂																																																																																																																																																																																																																											
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
		・ 吹付け																																																																																																																																																																																																																												
適用箇所	種 別	凸 面 処 理																																																																																																																																																																																																																												
	・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																												
	・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																												
	・ A種 ・ B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																												
図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 ・ 年 月		担 当 者																																																																																																																																																																																																																								
()		仕様書3																																																																																																																																																																																																																												
						設 計 者																																																																																																																																																																																																																								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																					
5 建具 改修 工事	1 改修工法 (5.1.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">改修工法</th> <th colspan="2">適用範囲</th> </tr> <tr> <td>・かぶせ工法</td> <td>・全般</td> <td colspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td>・撤去工法</td> <td>・全般</td> <td colspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td>・新設工法</td> <td>・図示による</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	改修工法		適用範囲		・かぶせ工法	・全般	・図示による		・撤去工法	・全般	・図示による		・新設工法	・図示による			8 鋼製建具 (5.4.2~3)	<p>鋼製建具の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易気密型ドアセット <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性(外部に面する場合)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> <td>・W-1</td> <td>・S-4 ・S-5 ・S-6</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	適用箇所	気密性	水密性	耐風圧性(外部に面する場合)	備考		・A-3	・W-1	・S-4 ・S-5 ・S-6		13 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	<p>自閉式上吊り引戸装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	19 木製建具 <16.7.2> <16.7.4>	<p>材料</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュ戸 <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>表面材の合板の種類</th> <th>普通合板の板面の品質</th> <th>表面板の厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・かまち戸</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>かまち及び鍍板の樹種</th> <th>表面板の厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ふすま</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>上張りの種類</th> <th>枠及びくつずりの材料</th> <th>縁の仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・I形 ・II形</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>形状及び仕上げ</p> <p>各木製建具の見込み寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	適用箇所	表面材の合板の種類	普通合板の板面の品質	表面板の厚さ(mm)	備考		* 図示による	* 図示による	* 図示による		適用箇所	かまち及び鍍板の樹種	表面板の厚さ	備考		* 図示による	* 図示による		適用箇所	種別	上張りの種類	枠及びくつずりの材料	縁の仕上げ	備考		・I形 ・II形	* 図示による	* 図示による	* 図示による	
	改修工法		適用範囲																																																													
	・かぶせ工法	・全般	・図示による																																																													
	・撤去工法	・全般	・図示による																																																													
	・新設工法	・図示による																																																														
	適用箇所	気密性	水密性	耐風圧性(外部に面する場合)	備考																																																											
		・A-3	・W-1	・S-4 ・S-5 ・S-6																																																												
適用箇所	表面材の合板の種類	普通合板の板面の品質	表面板の厚さ(mm)	備考																																																												
	* 図示による	* 図示による	* 図示による																																																													
適用箇所	かまち及び鍍板の樹種	表面板の厚さ	備考																																																													
	* 図示による	* 図示による																																																														
適用箇所	種別	上張りの種類	枠及びくつずりの材料	縁の仕上げ	備考																																																											
	・I形 ・II形	* 図示による	* 図示による	* 図示による																																																												
2 防火戸 (5.1.4)	<p>防火戸の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>防火戸の連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューズ装置 ・熱感知器 ・煙感知器 ・図示による 	9 鋼製軽量建具 (5.5.2~3)	<p>鋼製軽量建具の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易気密型ドアセット <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>気密性</th> <th>遮音性、断熱性、耐震性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料</p> <p>鋼板類の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>召合せ、縦小口包み板等の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出成形材 <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	適用箇所	気密性	遮音性、断熱性、耐震性	備考		・A-3	* 図示による		14 重量シャッター (5.10.2)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>シャッターの種類</th> <th>開閉方式</th> <th>鋼板の種類</th> <th>めっき付着量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²</td> <td>・上部電動式 (手動併用)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防煙シャッター</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護装置</p> <p>二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>障害物感知装置の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>危害防止機構の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置する(設置箇所は図示による) ・設置しない 	適用箇所	シャッターの種類	開閉方式	鋼板の種類	めっき付着量	備考		・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ²	・上部電動式 (手動併用)	・	・			・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ²	・	・	・			・屋内用防火シャッター	・	・	・			・防煙シャッター	・	・	・		15 軽量シャッター (5.11.2~4)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形							
適用箇所	気密性		遮音性、断熱性、耐震性	備考																																																												
	・A-3		* 図示による																																																													
適用箇所	シャッターの種類		開閉方式	鋼板の種類	めっき付着量	備考																																																										
	・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ²		・上部電動式 (手動併用)	・	・																																																											
	・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ²		・	・	・																																																											
	・屋内用防火シャッター		・	・	・																																																											
	・防煙シャッター	・	・	・																																																												
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状																																																											
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
3 見本の製作等 (5.1.5)	<p>建具見本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作しない ・製作する(適用箇所は図示による) <p>特殊な建具の仮組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行わない ・行う 	10 ステンレス製建具 (5.6.2~5)	<p>一般事項</p> <p>既製金物又はこれに準ずる金物のうち機能上必要な最小限のもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造所の仕様による <p>材質、形状および寸法</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による ・表16.8.1による <p>金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による ・表16.8.2による <p>樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による ・表16.8.3による <p>木製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による ・表16.8.4による <p>木製建具用の戸車及びレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による ・表16.8.5による <p>取付け施工</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による ・表 <p>鍵</p> <p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作する(本) ・製作しない <p>鍵の製作本数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3本1組(本) <p>鍵箱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設ける(個用) ・設けない 	16 オーバーヘッドドア (5.12.2)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>セクション材料</th> <th>耐風圧性能</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ</td> <td>・図示による</td> <td>・バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板</td> <td></td> </tr> </table>	適用箇所	セクション材料	耐風圧性能	開閉方式	収納形式	ガイドレール	備考		・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ	・図示による	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板																																														
適用箇所	セクション材料		耐風圧性能		開閉方式	収納形式	ガイドレール	備考																																																								
	・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ		・図示による		・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板																																																									
4 防犯建物部品 (5.1.7)	適用する(適用箇所は図示による)		11 建具用金物 (5.7.2)		<p>自動ドア開閉装置の性能値</p> <p>駆動装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>検出装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>機構</p> <p>戸の開閉方法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>引き戸用検出装置の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光線(反射) ・音波 ・電波 ・熱線 ・タッチ ・押しボタン <p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	17 ガラス (5.13.2~4)	<p>材料</p> <p>ガラスの品種・性能・厚さは図示による</p> <p>ガラス留め材(防火戸を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング材 ・ガスケット (・グレイジングチャンネル形・グレイジングビード形) <p>板ガラスをはめ込む溝の大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 製造所の仕様による <p>工法</p> <p>熱線反射ガラスの映像調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 																																																									
5 アルミニウム製建具 (5.2.2)	<p>アルミニウム製建具の性能値等</p> <p>(表16.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部に面する建具の種類(コンクリート及び鉄骨下地) <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・外部に面する建具の種類(木下地) <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種 ・E種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>アルミニウムの表面処理</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>標準色・特注色の別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>結露水の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>水切り板、ぜん板</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 				適用箇所		種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・A種 ・B種 ・C種				・図示による	・図示による	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・D種 ・E種				・図示による	・図示による	18 ガラスブロック積み (5.13.5)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																	
適用箇所	種別				耐風圧性		気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																						
	・A種 ・B種 ・C種								・図示による	・図示による																																																						
適用箇所	種別	耐風圧性		気密性	水密性		遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																								
	・D種 ・E種						・図示による	・図示による																																																								
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度		スラットの材質	めっき付着量		スラットの形状																																																									
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
6 網戸 (5.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>・ステンレス(SUS304)線材</td> <td>・1.5mm</td> <td>・15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	・	・	・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	・1.5mm	・15mm	12 自動ドア開閉装置 (5.8.3)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																					
種類	材質	線径	網目																																																													
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	・	・																																																													
・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	・1.5mm	・15mm																																																													
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状																																																											
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
7 樹脂製建具 (5.3.2)	<p>樹脂製建具の性能値等</p> <p>(表16.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部に面する建具の種類(コンクリート及び鉄骨下地) <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・外部に面する建具の種類(木下地) <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種 ・E種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>表面色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準色 ・特注色 <p>ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による 	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・A種 ・B種 ・C種					・図示による	・図示による	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・D種 ・E種				・図示による	・図示による	19 付属電気設備	<p>電動シャッター、電動オーバーヘッドドア、自動ドア等に付属する電気設備の施工範囲は下記による。</p> <p>一次側電源供給 * 別途工事 ・ 本工事</p> <p>二次側配管配線器具取付 * 本工事 ・ 別途工事</p> <p>0.4kW以上の三相電動機には、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサを設置する。</p>																																
適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																										
	・A種 ・B種 ・C種				・図示による	・図示による																																																										
適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																										
	・D種 ・E種				・図示による	・図示による																																																										
6 内装 改修 工事	1 他の部位との取合等 (6.1.3)	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁厚程度 ・図示による <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のまま ・図示による <p>天井内の既存壁の撤去に伴い当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存仕上げ ・図示による 																																																														
2 既存床の撤去並びに 下地補修 (6.2.2)	<p>ビニル床シートの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示による) ・撤去範囲全て) <p>合成樹脂塗床材の除去等の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械的除去工法 ・目荒し工法 <p>改修後の床の清掃範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修部の端部より1m程度 ・図示による 																																																															
3 既存壁の撤去並びに 下地補修 (6.3.2)	<p>間仕切壁撤去に伴う他構造の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを越える場合の処置) ・図示による 																																																															
4 表面仕上げ (6.5.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械加工 <p>機械加工の場合の仕上げの程度</p> <p>(表6.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・C種</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・手加工 <p>手加工の場合の仕上げの程度</p> <p>(表6.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-C種</td> </tr> </table>	適用箇所		種別			・A種			・B種			・C種	適用箇所		種別			・H-A種			・H-B種			・H-C種																																							
適用箇所		種別																																																														
		・A種																																																														
		・B種																																																														
		・C種																																																														
適用箇所		種別																																																														
		・H-A種																																																														
		・H-B種																																																														
		・H-C種																																																														
19 付属電気設備	1 他																																																															

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
()		仕様書4			設計者

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項									
5	木	材 (6.5.2(2))	木材の含水率 ・ A種 ・ B種 (表6.5.2)			製材 ・ 「製材の日本農林規格」による (樹種、寸法、等級・形状等は図示による) ・ 「製材の日本農林規格」以外の製材 (寸法、乾燥処理、防虫処理及び難燃処理は図示による) 造作材材面の品質 ・ A種 ・ B種 (表6.5.3) 樹種は、図示または標準仕様書による。			6	造	作	用	集	成	材 (6.5.2(3))	「集材の日本農林規格」による ・ 「集材の日本農林規格」以外の集材 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による ・ 「単板積層材の日本農林規格」以外の集材			造作用集材材 (寸法は図示による)			適用箇所 樹種 見付け材面の品質 ・ 1等 ・ 1等							
			化粧ばり造作用集材材 (寸法は図示による)			適用箇所 化粧薄板の樹種 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質										柱 ・ 杉 ・ 1.0 ・ 1等			鴨居・長押・回縁 ・ 杉 ・ 0.6 ・ 1等			天井板 ・ 杉 ・ 0.2 ・ 1等			敷居 ・ サクラ ・ 1.5 ・ 1等				
			化粧ばり構造用集材材 (寸法は図示による)			適用箇所 心材の樹種 化粧薄板の樹種 化粧薄板の厚さ (mm)																							
			寸法は図示による			適用箇所 表面の品質 防虫処理 厚さ (mm)										天然木化粧加工 ・ 適用する ・ 適用しない													
			普通合板			適用箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理										・ 1類 (広葉樹) ・ 適用する ・ 2類 (針葉樹) ・ C-D以上 ・ 適用しない													
			構造用合板			適用箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級										・ 適用する ・ 適用しない													
			化粧ばり構造用合板			適用箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理										・ 適用する ・ 適用しない													
			10 防腐・防蟻処理 (6.5.5(1))			処理方法 ・ 薬剤の加圧注入 (保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4) ・ 薬剤の塗布 (薬剤の種類 (適用部材)) ・ 接着剤への薬剤混入 (適用部材)) ・ 合板等の加圧注入 (適用箇所))																							
			11 防虫処理 (6.5.5(2))			適用箇所 ()																							
			7	造	作	用	単	板								積	層	材 (6.5.2(4))	寸法は図示による			適用箇所 表面の品質 防虫処理 厚さ (mm)							
適用箇所 品名 曲げ強度 (強度等級) 種別 接着性能 樹種 厚さ (mm)																													
12 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)									材料 野縁等の種類 (表6.6.1) 屋内 ・ 19形 ・ 25形 屋外 ・ 19形 ・ 25形 屋外の場合の野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 * 図示による 屋外の場合の野縁の間隔 * 図示による 工法 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 * 図示による 天井のふところが1.5m以上の場合の補強方法 * 図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強方法 * 図示による 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強方法 * 図示による 照明器具、吹出口、その他開口部周辺では必要に応じ増りを行う * 別途設備工事により施工																				
13 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)									スタッド・ランナーの種類 ・ 表6.7.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 50形 ・ 65形 ・ 90形 ・ 100形 スタッドの高さが5.0mを超える場合 * 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 * 図示による																				
14 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2~3)									・ 天然木化粧合板 適用箇所 厚さ (mm) 接着の程度 化粧板に使用する単板の樹種名 防虫処理 ・ 特殊加工化粧合板 適用箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 ・ パーティクルボード 適用箇所 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ・ ミディアムデンシティーファイバーボード 適用箇所 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)																				
15 カーペット敷き (6.9.2~3)									・ 織じゅうたん 適用箇所 織り方 バイルの形状 帯電性 備考 (参考品番) 色柄 ・ バイル糸の種類等 ・ 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表19.3.1) ・ タフテッドカーペット (参考品番 : バイルの形状 ・ バイル長 mm 工法 ・ グリッパー工法 ・ 全面接着工法) ・ ニードルパンチカーペット (参考品番 : 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない)																				
16 合成樹脂塗床 (6.10.3)									・ ビニル床シート 適用箇所 種類の記号 色柄 厚さ (mm) 備考 ・ 目地処理 (工法 ・ 熱溶接工法) ・ 突付け (適用箇所 :) ・ ビニル床タイル 適用箇所 種類の記号 色柄 寸法 厚さ (mm) 備考 ・ 特殊機能床材 適用箇所 種類 性能 寸法 厚さ 形状 備考 ・ 帯電防止床シート ・ 帯電防止床タイル ・ 視覚障害者用床タイル ・ 耐荷重性床シート ・ 防滑性床シート ・ 防滑性床タイル																				
17 フローリング張り (6.11.2~7)									・ ビニル幅木 適用箇所 材質 高さ (mm) 厚さ (mm) 備考 ・ ゴム床タイル 適用箇所 種類 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 特殊な下地の工法 * 図示による 目地処理する場合の工法 * 図示による																				
18 畳敷き (6.12.2)									種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (・ K T - I ・ K T - II ・ K T - III ・ K T - IV)																				
19 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2~3)									セッコウボード、その他ボード類の種類、厚さ、防火性能等は、図示による。 合板の種類等 ・ 普通合板 適用箇所 厚さ (mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 ・ 1類 (広葉樹) ・ 適用する ・ 2等 (針葉樹) ・ C-D以上 ・ 適用しない																				
10 防腐・防蟻処理 (6.5.5(1))			11 防虫処理 (6.5.5(2))			12 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)			13 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)			14 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2~3)			15 カーペット敷き (6.9.2~3)			16 合成樹脂塗床 (6.10.3)			17 フローリング張り (6.11.2~7)			18 畳敷き (6.12.2)			19 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2~3)		
図面番号 ()			工事名			図面種別			縮尺			設計・年月			担当者			設計者											
			仕様書5																										

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																			
20	壁紙張り (6.14.2)	天然木化粧合板	適用箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	化粧板の樹種名	防虫処理	23	タイル (6.16.3 ~4)	タイルの種類	適用箇所	形状寸法 (mm)	備考 (参考品番等)	4	塗料塗り (7.4.2~ 7.14.2)	塗装工程の種類	塗料の種類	塗替え	新規塗装	8	1	あと施工アンカー (8.2.4)	接着系アンカー 種類 (・ カプセル方式の回転・打撃式)																
		特殊加工化粧合板	適用箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	表面性能	化粧加工の 方法			防虫処理	役物使用箇所 (形状は図示による)	内装	出隅			天端	外装	出隅	窓台				マグサ	(標準一体成型品以外は接着成型品とする)	タイルの試験張り	行わない	行う	アンカー筋 の種類	径	埋込長さ	新設壁内 への 定着長さ	引張耐力	剪断耐力	備考					
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材	適用箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	表面性能	化粧加工の 方法			防虫処理	内装	出隅	天端			外装	出隅	窓台	マグサ				(標準一体成型品以外は接着成型品とする)	タイルの試験張り	行わない	行う	アンカー筋 の種類	径	埋込長さ	新設壁内 への 定着長さ	引張耐力	剪断耐力	備考						
21	モルタル塗り (6.15.3)	モルタル・プラスター面の素地ごしらえの種類	適用箇所	壁紙の種類	防火性能	備考	7	塗装 改修 工事	1 既存塗膜の除去 (7.2.1)	塗替えで下地調整種別がRB種の場合の既存塗膜除去範囲	塗替え面積の (%) 程度	塗替え面積の 30 % 程度	8	1	鉄筋の種類 (8.2.1)	種類の記号	径	2	溶接金網 (8.2.2)	* 寸法、適用箇所は図示による	2	あと施工アンカー の試験 (8.2.4(4))	性能確認試験	行う	行わない	施工確認試験	行う	行わない	* 機械的簡易引抜試験機による引張試験	設計用引張強度	アンカー の種類	径	引張強度	コンクリート の推定強度	適用箇所				
		下地調整 (7.2.2~7)	下地調整の種類	塗装面の種類	塗替え	新規塗装			種類	備考	1 既存塗膜の除去 (7.2.1)	塗替えで下地調整種別がRB種の場合の既存塗膜除去範囲				塗替え面積の (%) 程度	塗替え面積の 30 % 程度			種類の記号			径	種類の記号	径	* 寸法、適用箇所は図示による	性能確認試験	行う	行わない	施工確認試験	行う	行わない	* 機械的簡易引抜試験機による引張試験	設計用引張強度	アンカー の種類	径	引張強度	コンクリート の推定強度	適用箇所
		モルタル・プラスター面の素地ごしらえの種類	適用箇所	壁紙の種類	防火性能	備考			種類	備考	1 既存塗膜の除去 (7.2.1)	塗替えで下地調整種別がRB種の場合の既存塗膜除去範囲				塗替え面積の (%) 程度	塗替え面積の 30 % 程度			種類の記号			径	種類の記号	径	* 寸法、適用箇所は図示による	性能確認試験	行う	行わない	施工確認試験	行う	行わない	* 機械的簡易引抜試験機による引張試験	設計用引張強度	アンカー の種類	径	引張強度	コンクリート の推定強度	適用箇所
22	伸縮調整目地 (6.16.2 (1))	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の設置位置	適用箇所	材料	既製目地材	備考	3	錆止め塗料塗り (7.3.2)	錆止め塗料塗りの種類	錆止め塗料の種類	塗料	工程	5	各部配筋 (8.3.7)	各部配筋	錆止め塗料の種類	塗料	工程	5	各部配筋 (8.3.7)	各部配筋	錆止め塗料の種類	塗料	工程	5	各部配筋 (8.3.7)	各部配筋	錆止め塗料の種類	塗料	工程									
		床の目地	適用箇所	材料	既製目地材	備考			錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類			塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料			工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程			錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	
		外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの 接着力試験	適用箇所	材料	既製目地材	備考			錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類			塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料			工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程			錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類	塗料	工程	錆止め塗料の種類
図面番号	工事名						図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者																												
()							仕様書6																																

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																											
8 3 耐 震 改 修 工 事 (コ ン ク リ ト 工 事)	1 コンクリートの種類と強度 (8.1.3) (8.9.1~2)	種類 * I類 (適用箇所: * 全体) (表8.1.1) * II類 (適用箇所:) * 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>* 21N/mm²</td> <td>* 2.3t/m³程度</td> <td>・ 15</td> <td>・ ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 18</td> <td>・ ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> * 軽量コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) (N/mm²)</th> <th>種 別</th> <th>所用気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1種</td> <td></td> <td>・ * 図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c)	気乾単位容積質量	スランプ	適用箇所	* 21N/mm ²	* 2.3t/m ³ 程度	・ 15	・ ・ 図示による			・ 18	・ ・ 図示による					設計基準強度 (F _c) (N/mm ²)	種 別	所用気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用 箇所		・ 1種		・ * 図示による		・ 2種				・ 1種				・ 2種			8 4 耐 震 改 修 工 事 (鉄 骨 工 事)	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	* 指定性能評価機関によるグレードの指定 ・ S ・ H以上 ・ M以上 ・ R以上 ・ J以上 ・ 監督職員が承諾する製作工場	8 5 耐 震 改 修 工 事 (そ の 他)	8 耐火被覆の種類及び性能 (8.18.2)	種類 下記のうち建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火材吹付け ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ 耐火塗料 性能 (耐火時間) ・ 時間 適用箇所 ()	8 6 地 業 工 事	2 構造体コンクリートの仕上り (8.1.4)	打放し仕上の種別 (合板せき板を用いる場合) (表8.1.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td></td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ (表8.1.5) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a 種</td> <td>・ * 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ b 種</td> <td>・ * 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ c 種</td> <td>・ * 図示による</td> </tr> </table>	種 別	適用 箇所	・ A 種		・ B 種		・ C 種		種 別	適用 箇所	・ a 種	・ * 図示による	・ b 種	・ * 図示による	・ c 種	・ * 図示による	2 施工管理技術者 (8.1.6)	配置する資格 ()	1 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 (8.21.2 ~10)	既存仕上げの撤去範囲 ・ 図示による 既存構造体の撤去範囲 ・ 図示による 既存部分の目荒らしの程度 ・ 図示による 割裂補強筋の仕様 ・ 図示による コンクリートの打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 既存構造体との取合い ・ 8.19.9による ・ 図示による 増設壁の仕上げ ・ 図示による	1 既存杭の撤去等 (8.28.2)	既存杭の一部を撤去する場合の撤去範囲及び方法 ・ 図示による 既存杭の杭頭処理 ・ 図示による 既存杭の補強 ・ 図示による 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による
	設計基準強度 (F _c)	気乾単位容積質量	スランプ	適用箇所																																																																		
	* 21N/mm ²	* 2.3t/m ³ 程度	・ 15	・ ・ 図示による																																																																		
			・ 18	・ ・ 図示による																																																																		
設計基準強度 (F _c) (N/mm ²)	種 別	所用気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用 箇所																																																																			
	・ 1種		・ * 図示による																																																																			
	・ 2種																																																																					
	・ 1種																																																																					
	・ 2種																																																																					
種 別	適用 箇所																																																																					
・ A 種																																																																						
・ B 種																																																																						
・ C 種																																																																						
種 別	適用 箇所																																																																					
・ a 種	・ * 図示による																																																																					
・ b 種	・ * 図示による																																																																					
・ c 種	・ * 図示による																																																																					
3 塩化物量、アルカリ総量及び混和材料 (8.2.5)	塩化物量 0.3kg/m ³ 以下 (8.6.4(1)) アルカリ総量 3.0kg/m ³ 以下 (8.5.4(2)) 混和剤の種類 * 8.2.5(4)(a)による ・ 図示による 混和材の種類 * 8.2.5(4)(b)による ・ 図示による	3 鋼 材 (8.2.8)	鋼材の材質等 (表7.2.1) 種類 ・ SS400 ・ SN400A ・ SM490A ・ SSC400 ・ STKR400	2 鉄骨ブレースの設置工事 (8.22.2 ~9)	割裂補強筋の仕様 ・ 図示による ブレース設置後の仕上げ ・ 図示による	2 埋戻し及び盛土の種別 (8.28.3)	埋戻し ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (表8.28.1) ・ (材料: 工法:) 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (表8.28.1) ・ (C種の場合の詳細は、現場説明書による。) ・ (材料: 工法:)																																																															
4 構造体用モルタル (8.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>圧縮強度</th> <th>フロー値</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>kN/mm²</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	圧縮強度	フロー値	適用 箇所	kN/mm ²	mm					4 高力ボルト (7.2.9)	高力ボルトの種類 ・ トルシア形 2種 (S10T) ・ JIS形 2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき 1種 (F8T) 相当 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 * 図示による	3 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	コンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示による コンクリート及び構造体用モルタルの打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 強工事後の仕上げ ・ 図示による	3 建設発生土の処理 (8.28.3)	現場説明書による																																																						
圧縮強度	フロー値	適用 箇所																																																																				
kN/mm ²	mm																																																																					
5 型 枠 (8.2.7)	コンクリートの打ち増し厚さ (打ち放し仕上げ部) ・ 外部 (mm) ・ 内部 (mm) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 * 図示による 材料 ・ 合板 <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>厚 さ</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 表面加工品</td> <td>・ 12mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B-C</td> <td>・ 12mm</td> <td></td> </tr> </table> ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品または評価名簿による) 適用箇所 (* 図示による) ・ メッシュ型枠 適用箇所 (* 図示による) ・ 断熱材兼用型枠 適用箇所 (・) ・ MCR工法用シート 適用箇所 (・) ・ 化粧型枠 適用箇所 (* 図示による) 参考品番 (* 図示による)	規 格	厚 さ	適用 箇所	・ 表面加工品	・ 12mm		・ B-C	・ 12mm		5 スタッド (8.2.11)	JIS B 1198による 種類等 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用 箇所	・ 16			・ 19			・ 22			・			4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	柱頭及び柱脚の隙間 ・ 図示による 補強工事後の仕上げ ・ 図示による	4 山 留 め (8.28.3)	工法等 () 存置 ・ する * しない 鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充填する																																							
規 格	厚 さ	適用 箇所																																																																				
・ 表面加工品	・ 12mm																																																																					
・ B-C	・ 12mm																																																																					
呼び名	呼び長さ (mm)	適用 箇所																																																																				
・ 16																																																																						
・ 19																																																																						
・ 22																																																																						
・																																																																						
			6 溶接部の試験 (8.15.11)	溶接部の試験は技能資格者が行う。 外観試験 ・ 平12建第1464号第二号に関する外観試験方法等 (・ 抜き取り検査① ・ 抜き取り検査②) ・ JASS6 附則 6 [鉄骨制度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 完全溶込み部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 AQL (平均出検品質限界) ・ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ・ 第6水準 ・ 工事現場溶接の場合 * 全て 受注者が検査機関と直接締結した契約書を監督職員に提示する。	5 連続繊維補強工法 (8.2.13) (8.24.2 ~7)	連続繊維補強材の仕様等は図示による。 柱隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による ・ 連続繊維補強材の強度試験 (試験数量) 補強工事後の仕上げ ・ 図示による	5 試験杭 (8.28.4)	* 図示による																																																														
			7 錆止め塗装 (8.17.2~4)	塗装の範囲 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>範 囲</th> </tr> <tr> <td>耐火被覆材の接着する面の塗装</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>耐火被覆材の接着する面以外の塗装</td> <td>・</td> </tr> </table> 塗料の種類 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ B種 (表18.3.1) ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ()	種 別	範 囲	耐火被覆材の接着する面の塗装	・	耐火被覆材の接着する面以外の塗装	・	6 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	スリットの幅及び深さ * 図示による ・ 耐火材の充填 <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>防火性能</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 遮音材の充填 <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>遮音性能</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 撤去部の補修 ・ 撤去材と同一材で補修	材 料	防火性能	適用 箇所							材 料	遮音性能	適用 箇所							6 杭の載荷試験 (8.28.4)	* 実施する ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 試験杭の位置及び載荷重等は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。																																						
種 別	範 囲																																																																					
耐火被覆材の接着する面の塗装	・																																																																					
耐火被覆材の接着する面以外の塗装	・																																																																					
材 料	防火性能	適用 箇所																																																																				
材 料	遮音性能	適用 箇所																																																																				
					7 免震改修工事 (8.26.5 ~17)	既存部分の撤去範囲 ・ 図示による 支承材又は減衰材の材質及び諸元 ・ 図示による 性能確認試験の項目及び数量 ・ 図示による 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による 支承材又は減衰材の防錆処置 ・ 図示による 支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ 図示による 支承材又は減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による 支承材への耐火被覆の適用及び仕様 ・ 図示による	7 地盤の載荷試験 (8.28.4)	* 実施する 平板載荷試験 試験位置及び載荷重は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。																																																														

図面番号	工 事 名	図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者
()		仕様書7			設 計 者

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																						
8	既製コンクリート及び鋼杭地業 (8.28.4)	* 工法 ()	杭の種類種類	* 図示による			<p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="2">分析方法 (定性)</th> <th colspan="2">分析方法 (定量)</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1</td> <td>又は</td> <td>JIS A 1481-3</td> <td>又は</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS A 1481-2</td> <td></td> <td>JIS A 1481-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと</p> <p>石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各適用箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点2</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点3</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点4</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点5</td> <td>負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)</td> <td>1m/sec以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点6</td> <td rowspan="2">処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点7</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点9</td> <td>1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>・ 測定5</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ()</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <p>・ JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>・ 測定5</td> <td>2.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ()</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ()</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ()</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工業者 ・ 「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」の証明を有する工法の施工業者</p> <p>石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 改修9.1.3(2)(ア)による ・ 飛散防止 * 密封処理 (* 湿潤化 ・ セメント固化)</p> <p>石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 原形のまま、手ばらし ・ 粉砕して除去 飛散防止 * 密封処理 (* 湿潤化 ・ セメント固化)</p>	材料名	分析方法 (定性)		分析方法 (定量)		JIS A 1481-1	又は	JIS A 1481-3	又は		JIS A 1481-2		JIS A 1481-4			箇所		箇所			箇所		箇所			箇所		箇所		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各適用箇所ごと)	・	測点1	処理作業前	処理作業室内	計 点	・	測点2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点	・	測点3	処理作業室内	計 点	*	測点4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	計 点	*	測点5	負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)	1m/sec以下の位置 計 点	*	測点6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)	計 点	*	測点7	処理作業室内	計 点	・	測点8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点	・	測点9	1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法	・ 測定4	・ 測定5	・ 測定 ()	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	・ 測定4	・ 測定5	2.5	5	・ 測定 ()		4.7	1.0	・ 測定 ()		4.7	1.0	・ 測定 ()		4.7	2.4	・ 測定 ()				杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	9	場所打ちコンクリート杭地業 (8.28.4)	* 工法 () 支持層の位置及び土質等は図示による コンクリート 種別 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1) 設計基準強度 N/mm ² 構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し ・ 行う (・ 3N/mm ² ・) * 行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	10	砂利地業 (8.28.4)	材 料 * 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 厚 さ * 図示による	11	捨てコンクリート地業 (8.28.4)	範囲及び厚さ * 図示による	12	床下防湿層	施工範囲は図示による。	13	その他の地業	・ 地盤改良 工 法 * 工法 () 詳細は図示による セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の試験 ・ 六価クロム溶出試験 配合設計段階 検体 施工後段階 検体 ・ タンクリーチング試験	2	外断熱改修工事 (9.3.2~4)	断熱材の種類及び厚さ ・ 断熱材打込み工法	10	その他改修工事	1	フリーアクセスフロア <20.2.2>	材料構法等 適用箇所 * 図示による	2	可動間仕切 <20.2.3>	適用箇所 * 図示による	3	表 示 <20.2.10>	適用箇所 * 図示による	4	ブラインド <20.2.12>	適用箇所 形式 スラットの材質 開閉方式 スラットの幅 (mm)	5	ロールスクリーン <20.2.13>	適用箇所 操作方式 材質 製造所等 幅・高さ 備考	6	カーテン及びカーテンレール <20.2.14>	適用箇所 きれ地の種類 品質・製造所 ひだの種類 表20.2.1による 開閉形式 操作方式 備考	7	点 検 口	適用箇所 寸法 (mm) 材質 形状 備考	8	階段及び廊下手すり	参考品番 () 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・	9	補助手すり	規格 ・ 標準詳細図による ・ 一般品 (参考品番) 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・
			材料名	分析方法 (定性)		分析方法 (定量)																																																																																																																																																											
				JIS A 1481-1	又は	JIS A 1481-3		又は																																																																																																																																																									
				JIS A 1481-2		JIS A 1481-4																																																																																																																																																											
				箇所		箇所																																																																																																																																																											
				箇所		箇所																																																																																																																																																											
				箇所		箇所																																																																																																																																																											
			適用	測定名称	測定時期	測定場所		測定点 (各適用箇所ごと)																																																																																																																																																									
			・	測点1	処理作業前	処理作業室内		計 点																																																																																																																																																									
			・	測点2	処理作業中	調査対象室外部の付近		計 点																																																																																																																																																									
			・	測点3		処理作業室内		計 点																																																																																																																																																									
			*	測点4	処理作業中	セキュリティゾーン入口		計 点																																																																																																																																																									
			*	測点5		負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)		1m/sec以下の位置 計 点																																																																																																																																																									
*	測点6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)	計 点																																																																																																																																																													
*	測点7		処理作業室内	計 点																																																																																																																																																													
・	測点8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																													
・	測点9	1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																
・ 測定4	・ 測定5																																																																																																																																																																
・ 測定 ()	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																														
・ 測定4	・ 測定5	2.5	5																																																																																																																																																														
・ 測定 ()		4.7	1.0																																																																																																																																																														
・ 測定 ()		4.7	1.0																																																																																																																																																														
・ 測定 ()		4.7	2.4																																																																																																																																																														
・ 測定 ()																																																																																																																																																																	
図面番号	工 事 名						図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者																																																																																																																																																							
()							仕様書 8				設 計 者																																																																																																																																																						